

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科園芸学専攻				
科目名称	資源植物生産学特別演習Ⅱ				授業形態	演習			
科目コード	631203	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	廣瀬 大介							ICT活 用	
授業概要	本特別演習は、資源植物生産学特別演習Ⅰと同様な方法で受講生各自が各テーマに沿った論文や文献などを紹介して、このことから資源植物の将来展望、特に利用について学んでいくことを目的に行う。								
関連する科目	資源植物生産学特論Ⅰ、Ⅱおよび資源植物生産学特別演習Ⅰを受講すること。また、資源植物生産学特別実験を受講していること。								
授業の進め方 と方法	毎回、アクティブラーニング型授業を実施する。本授業は、受講生が各テーマに沿って発表し、その内容について全員で討論する方式で行なう。								
授業計画	<p>第1回 資源植物の将来展望について 1 穀類 穀類の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第2回 資源植物の将来展望について 2 マメ科作物 マメ科作物の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第3回 資源植物の将来展望について 3 イモ類 イモ類の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第4回 資源植物の将来展望について 4 野菜類 野菜類の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第5回 資源植物の将来展望について 5 澱粉科作物 澱粉科作物の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第6回 資源植物の将来展望について 6 繊維科作物 繊維科作物の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第7回 資源植物の将来展望について 7 甘味糖科作物 甘味糖科作物の将来展望、特に利用について学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第8回 資源植物の将来展望について 8 北方系薬用作物 北方系薬用作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第9回 資源植物の将来展望について 9 南方系薬用作物 南方系薬用作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第10回 資源植物の将来展望について 10 油科作物 油科作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第11回 資源植物の将来展望について 11 ゴム・樹脂作物 ゴム・樹脂作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第12回 資源植物の将来展望について 12 土壌保全作物 土壌保全作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第13回 資源植物の将来展望について 13 緑肥作物 緑肥作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第14回 資源植物の将来展望について 14 不良環境に対して適応能力も持つ作物 不良環境に対して適応能力も持つ作物の将来展望、特に利用について学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第15回 資源植物の将来展望について 15 複数の役割を担う作物 複数の役割を担うと考えられている資源植物の将来展望について学ぶ。</p>								
授業の到達目標	資源植物の将来展望、特に利用について理解することを目標としている【知識・理解の育成】【汎用的技能の育成】【人間力の育成】。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑の専門分野における高度な知識・技能/2. 人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。								
授業時間外学習【予習】	プレゼンテーションの基本を勉強する(約1時間)。								

授業時間外学習【復習】	指摘事項の対応を考える（約1時間）。
課題に対する フィードバック	プレゼンテーション内容について講評する。
評価方法・基準	受講態度（50点）、プレゼンテーション内容（50点）
テキスト	毎回、発表者が準備する。
参考書	資源植物学-研究方法への手引き
備考	